

おうちのかた向け



『あなたのすてきなところはね』

玉置 永吉//作 えがしら みちこ//絵 KADOKAWA

日に日に成長し、新しい世界へ足を踏み入れていく子どもたち。いつか目の届かないところへ歩いて行くのでしょうか。悲しいことにも出会うでしょう。そんなとき、この絵本にこめられた思いが、きっと子どもたちを支えてくれるはずです。胸いっぱい愛情を言葉にして伝えたい、幸せいっぱいの絵本。



『おうちでヒヤッ

できない、あけない、のぼらない』

清永 奈穂//文、監修 石塚 ワカメ//絵 岩崎書店

子どもはみんな「やりたい!」という意欲でいっぱい。そのやる気が、時には危険につながってしまうことも…。みなさんも、おうちの中でヒヤッとした経験があるのではないのでしょうか。大切なお子さんの安全を守るため、親子でおうちの中に潜む危険をもう一度見直し、楽しく学んでみませんか?

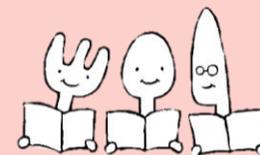


『わすれていいから』

大森 裕子//著 KADOKAWA

共に成長し、どんなときも一緒だった、猫の「おれ」と生まれただけだった人間の「おまえ」。巣立っていく子どもを、猫の目線で見つめる物語です。「おまえ」がいなくなった理由に、「おれ」が気づいたとき…愛にあふれたその言葉に涙が止まらなくなります。大切な存在に思いを馳せながら読みたい絵本です。

2024 SPRING



おすすめの 絵本

燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内します。



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧 Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

お問い合わせ 燕市立図書館 0256-62-2726 吉田図書館 0256-92-7650 分水図書館 0256-91-3255

0~2 さい向け



『いはいいちご』

こが ようこ//文 たかお ゆうこ//絵 教育画劇

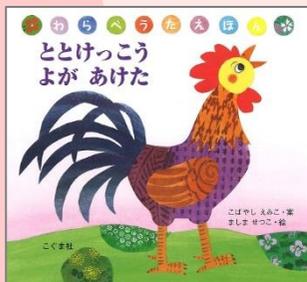
お口をぎゅっと結んで、ご機嫌ななめのいはいやちゃん。あれもこれも、ゼーンぶいや！お子さんにもそんな時期がありますよね。大切な成長の過程だとわかりつつも、その様子に気持ちが沈んでしまうことも。そんなときこの絵本が、ほんの少しでも明るく楽しく、日々を過ごせるきっかけになりますように。



『ピーちゃんとナッツくん』

はらしま まみ//作、絵 ポプラ社

なかよしのピーちゃんとナッツくん。おなかをくっつけて「ぼん ぼん」、手を合わせて「ばん ばん」。めくるとふたりがピタッとくっつく、なんともかわいいしかけ絵本。誰かとくっつく、なんだか嬉しくて楽しい気持ちになりますね。ピーちゃんとナッツくんの表情も、愛らしくて魅力的です。



『ととけっこうよがあげた』

こばやし えみこ//案 ましま せつこ//絵 こぐま社

「ととけっこう よがあげた」という、あたたかいわらべうたの調べとともに、にわとりが「おはよう」の時間を告げる絵本です。次々に目覚め、集まってくる動物たち。みんなでおひさまに「おはよう」したら、なんだか幸せな気持ち。お子さんの目覚めの時間に、ぜひ優しく歌い、語りかけてみてください。

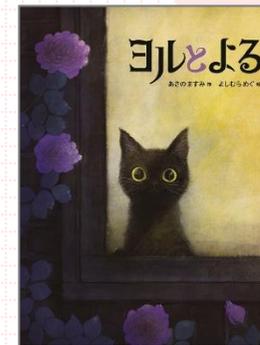
3~5 さい向け



『ゆっくりはいて たっぷりすって』

こが としこ//作 カワチ レン//絵 世界文化社

体や心が疲れてしまったときにはこの絵本。深くゆったりした呼吸の方法が、子どもにもわかりやすい説明と、かわいい絵で表現されています。新しい生活が始まる春。なんだか元気が出ないときは、「ゆっくりはいて たっぷりすって」を繰り返して、すこやかに毎日を過ごしたいですね。



『ヨルとよる』

あさの ますみ//作 よしむら めぐ//絵 教育画劇

夜ってまっくらで静か？それとも、まぶしくてにぎやか？外に出たことがない黒猫の「ヨル」と、家で暮らしたことがない「ネズミ」。二人が知っている「夜」は、まるで正反対のものでした。お互いの「夜」を一緒に過ごし、たくさんの「はじめて」に出会った、とっておきの一夜の物語です。



『はるがきた』

ジーン・ジオン//文 マーガレット・ブロイ・グレアム//絵
こみや ゆう//訳 主婦の友社

「まってなんかないでさ、ぼくたちで まちを はるにしようよ！」なかなか来ない春。待ちくたびれた街のみんなは、街中をペンキで春色に染め始めます。次第に街の人の心までも、一緒に彩られていくようです。春を迎えに行くアイデアと行動力、春の日差しとあたたかさがまぶしい絵本です。